

平成27年度社会システム改革と研究開発の一体的推進 研究開発プログラム評価(案)
 (気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた社会システムの改革プログラム)

	評価項目	コメント欄
I. 目的の実現度	【1-1】事業の目的が応募者に適切に伝えられたか(募集要領の記述、その後の説明等において)	
	【1-2】プログラムの目的を踏まえた長期的な事業推進戦略が構築されていたか	
II. 事業の実施体制	【2-1】プログラム実施期間中、プログラムで定められた中間評価や社会システム構築に関わる外部意見等を活用し、社会ニーズを反映した計画を進められたか	
III. 今後の展開・成果の還元や波及	【3-1】今後のモデルケースとして展開が可能なシステムの枠組が示せたか(実装・運用の実現可能性や要素技術の有機的結合の観点から)	
	【3-2】「社会システムの変革」を行う上での隘路問題の抽出・問題解決に向けた取組の支援やフォローアップが行われたか	

総括コメント欄

評価により示唆される今後の施策に対する方向性

平成27年度社会システム改革と研究開発の一体的推進 研究開発プログラム評価(案)
(安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム)

	評価項目	コメント欄
I. 目標の適切性	【1-1】関係府省との連携体制の下、具体的な現場ニーズに基づいた研究開発テーマの設定は適切であったか	
II. 制度運営の有効性	【2-1】産学官連携で、実用化・事業化を目指す研究開発システムは有効であったか	
	【2-2】実施期間5年の内、技術開発期間(3年)と実証期間(2年)との間に再審査システムを導入したことは、有効に機能したか	
III. 目標の達成状況	【3-1】実用化・事業化を目指す研究開発目標は達成されたか	
	【3-2】国民との科学・技術対話が有効に行われたか	

総括コメント欄

評価により示唆される今後の施策に対する方向性

平成27年度社会システム改革と研究開発の一体的推進 研究開発プログラム評価(案)
(健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の
隘路解消を支援するプログラム)

	評価項目	コメント欄
I. 成果と目標達成度	【1-1】本プログラムの成果として、研究開発の加速の状況、隘路解消に向けた対応状況、実用化展開加速に向けた見通しはどうかであったか	
	【1-2】本プログラム成果等の社会等への波及効果はどうかであったか	
II. プログラム設定の適切性	【2-1】プログラムの目的を達成するため、適切な公募要領・審査要領・採択条件を定めたか	
	【2-2】採択課題数や予算規模等は、プログラムの目的を達成するためのものとして適切であったか	
III. 実施体制	【3-1】関係省庁間における情報共有や推進支援は、プログラムの目的達成のために適切に行われたか(実施ワーキンググループや推進委員会等)	

総括コメント欄

評価により示唆される今後の施策に対する方向性

平成27年度社会システム改革と研究開発の一体的推進 研究開発プログラム評価(案)
(地域再生人材創出拠点の形成)

	評価項目	コメント欄
I. 目標の適切性	【1-1】「地(知)の拠点」としての出口設定は適切であったか	
	【1-2】地域の特性やニーズ把握ができていたか	
	【1-3】目標設定の実現可能性は適切であったか	
II. 活動の状況と目標の達成度	【2-1】地域とのコミュニケーションの状況はどうであったか	
	【2-2】地域及び実施機関双方における事業推進体制はどうであったか	
	【2-3】補助事業終了後の活動の継続性、発展性はどうか	
	【2-4】活動を通じた地域への貢献の状況はどうか	
III. その他	【3-1】事業を通じた、大学の変化の状況等	

総括コメント欄

評価により示唆される今後の施策に対する方向性

平成27年度社会システム改革と研究開発の一体的推進 研究開発プログラム評価(案)
(戦略的環境リーダー育成拠点形成)

	評価項目	コメント欄
I.目的の 実現度	【1-1】我が国の優れた環境技術や政策を活用した環境問題への実践的取組を介して、国際的な視野を持つ課題解決型の人材を育成できたか	
	【1-2】実施機関は途上国の環境分野におけるニーズを適切に把握して取り組んだか	
II.事業の 実施体制 (異分野連 携)	【2-1】人文・社会分野も含む幅広い分野を融合した環境教育が実施されたか	
	【2-2】環境リーダーの効果的かつ実践的な育成カリキュラム構築に向けて、産業界の協力を得て、取り組みが進められたか	
III.今後の 展開	【3-1】実施機関は支援終了後も事業を継続するための体制を、研究組織の改革や組織運営の改善を通じて構築できたか	

総括コメント欄

評価により示唆される今後の施策に対する方向性

平成27年度若手研究者養成システム改革 プログラム評価(案)
(若手研究者の自立的な研究環境整備促進)

	評価項目	コメント欄
I. 目的適合性	【1-1】プログラムの目的を踏まえて実施機関を採択したか	
II. 社会貢献性	【2-1】テニュアトラック制の導入はどの程度進展したか	
	【2-2】若手研究者に自立と活躍の機会を与えたか	
III. 実施体制の構築	【3-1】実施機関に対する指導・助言等は適切に行われたか	
	【3-2】実施機関は支援終了後も事業を継続するための体制を構築できているか	

総括コメント欄

評価により示唆される今後の施策に対する方向性

平成27年度若手研究者養成システム改革 プログラム評価(案)
(イノベーション創出若手研究人材養成)

	評価項目	コメント欄
I.目的適合性	【1-1】プログラムの目的を踏まえて実施機関を採択したか	
II.社会貢献性	【2-1】ポストドクターや博士課程(後期)学生が産業界など多様な場で活躍できるような教育・養成システムの構築はどの程度進展したか	
	【2-2】若手研究者等が国内外の多様な場で創造的な成果を生み出す能力を身につけるのに寄与したか	
III.実施体制の構築	【3-1】実施機関に対する指導・助言等は適切に行われたか	
	【3-2】実施機関は支援終了後も事業を継続するための体制を構築できているか	

総括コメント欄

評価により示唆される今後の施策に対する方向性

平成27年度女性研究者支援システム改革 プログラム評価(案)
(女性研究者養成システム改革加速)

	評価項目	コメント欄
I. 目的適合性	【1-1】プログラムの目的を踏まえて実施機関を採択したか	
II. 社会貢献性	【2-1】女性研究者の採用・養成・登用を加速する人事システムの改革はどの程度進展したか	
	【2-2】女性研究者の採用・養成・登用に寄与したか	
III. 実施体制の構築	【3-1】実施機関に対する指導・助言等は適切に行われたか	
	【3-2】実施機関は支援終了後も事業を継続するための体制を構築できているか	

総括コメント欄

評価により示唆される今後の施策に対する方向性